

第14号 令和5年2月17日（金） 文責 合志市立合志中学校 校長 境 敬一郎

## 【熊本県学力・学習状況調査個人票の返却について】

令和5年12月5日に実施した1・2年生対象の『令和4年度 熊本県学力・学習状況調査』の調査結果資料が送付されましたので、【個人票】を返却します。

この調査は、「児童生徒が自分の『学び』を自覚し、主体的な学習につなげることや、学校の課題把握及び児童生徒一人一人の課題克服につなげること等」をねらいとしています。

本校の結果は、1年生、2年生ともに県平均を上回っており、おおむね良好な状態でした。2年生においては、1年生の時とほぼ同様の結果であり、皆さんの日々の頑張りが成果となって表れていました。各教科の良かったところ及び課題については、次のようになっています。

### 【良かったところ】

#### 〈国語〉

1年：文法・語句に関すること

2年：文章を書く

#### 〈数学〉

1年：一次方程式

2年：式の計算

#### 〈英語〉

1年：リスニング

2年：場面に応じた英作文



### 【課題】

#### 〈国語〉

1年：漢字を書く

2年：漢字を読む

#### 〈数学〉

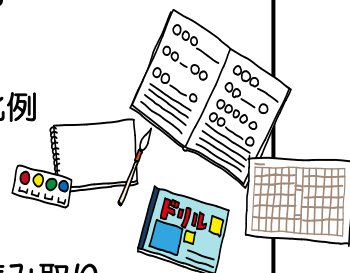
1年：比例・反比例

2年：証明

#### 〈英語〉

1年：英作文の読み取り

2年：英作文の読み取り



このことを受け、授業時間における定着のための時間確保や生徒自身が解決の道筋をたどるような授業展開の工夫、学びに向かうための学習環境の整備、将来を見据えるためのキャリア教育の充実等に努めてまいります。各教科においては、下記のとおり取り組んでまいります。

国語：タブレット等の活用で漢字を書く機会が減少している。ドリル的要素の学習や漢字の小テストを定期的実施するなどして定着を図る。

数学：小学校での内容が定着していない場合は、既習事項の復習を繰り返しながら中学校の内容を進めていく。

英語：リスニングにおいては、聞き取る文の長さや速さに対応できていなかった。授業の中で書く練習も含めて取り入れていく。

その他：副教材（デジタル教材を含む）を使った家庭学習の充実と苦手分野の復習に力を入れる。